

## グループ可変 短縮ダイヤル

使用頻度の高い電話番号をあらかじめ登録しておくことにより、その番号に対応した短縮番号で発信することができます。

### マルチキーテレホン

1. グループ可変短縮ダイヤルを、ワンタッチダイヤルキーに割り付けることができます。（「ワンタッチコール」の項を参照して下さい）。  
短縮番号00または11はワンタッチキー1に対応します。
2. 登録の際に、短縮番号ダイヤル後ディスプレイの下段に、現在登録してある相手番号を表示します。

### 登録方法

1. 受話器をあげて可変短縮ダイヤル発信特番【           】+短縮番号（00～19または11～30）をダイヤルします。
2. グループ可変短縮ダイヤルは1台（またはグループ）に20ヶ所で最大1,000台（またはグループ）まで登録できます。  
システム及びソフトのタイプによっては最大3,000まで可能となります。
3. 登録は次の方法で行います。  
受話器をあげて登録特番【           】+短縮番号（00～19または11～30）+相手先番号をダイヤルします。  
相手先番号の前に局線または専用線の発信特番を追加して下さい。
4. 専用線発信で桁間にポーズが必要な場合は、ポーズの位置に\*をダイヤルします（桁間 ポーズの登録はプッシュホンのみ可能です。）
5. 短縮番号ダイヤル後、ツ・ツ・ツ...が聞こえ、その後相手番号をダイヤルするとツーツーツーの登録確認音が聞こえます。  
登録時に操作が遅い場合はその操作が無効となることがあります。  
この時はツーツツ・ツーツツと音がします。

可変短縮発信特番、登録特番が不明の場合は、貴社の工事・保守を担当する弊社の販売店へお問い合わせください。

## ワンタッチコール

ワンタッチで局線・専用線発信ができます。

## マルチキーテレホン

1. 局線番号、専用線番号、内線番号、扱い者呼び特番をワンタッチキーに登録しておけばワンタッチで発信できます。
2. 【セレクト】キーによって、ワンタッチキーの表裏の切換ができ、10個のキーに20ヶ所の相手を登録できます。
3. 【セレクト】キーランプ滅火中はワンタッチキーの【1】～【10】、ランプ点灯中はワンタッチキーの【11】～【20】が使えます。  
受話器をおろすと、セレクトランプが滅火し表に戻ります。
4. ワンタッチキーは、グループ可変短縮ダイヤルに対応しています。  
短縮番号00～19または11～30がワンタッチの1～20に対応します。
5. ワンタッチキーへの相手先番号登録は「グループ可変短縮ダイヤル」の項の登録方法を参照して下さい。ワンタッチに対応した短縮番号で登録します。

